

株式会社ジェイコムウエスト
第四回（平成 28 年 1 月度） 放送番組審議会 議事概要

第四回の放送番組審議会は、平成 28 年 1 月 28 日（木）、株式会社ジェイコムウエスト本社において、5 名の委員が出席して開かれた。

会議では、会長の進行のもと、『デイリーニュース～高槻・島本～』1 月 11 日放送号を視聴し、番組に関する審議を行った。

■ 出席委員

会 長	梶原 義秀	（門真地区保護司会 理事）
副会長	平井 宏	（箕面自由学園 理事長）
委 員	川村 輝夫	（いけだ市民文化振興財団 理事）
	富永 俊裕	（須磨 FRS ネット 幹事）
	長友 文子	（和歌山大学 教授）

■ 審議番組

J:COM チャンネル 午前 11 時 00 分～午前 11 時 14 分放送
『デイリーニュース～高槻・島本～』
平成 28 年 1 月 11 日（月） 放送号

■ 主な発言

- ・地震など災害時に地域に密着した情報をケーブルテレビで放送できるのか。
→東日本大震災の際、ケーブル線は地中の線に比べ比較的被害がなく J:COM は給水所の情報などを放送した。
- ・災害時にケーブル線が切れた時の復旧の体制はどうなっているか。
→電気が通っていない時の復旧は難しいが、東日本大震災の時は公民館に線を引いてテレビを設置し発電機を使用して非常放送を行った。
- ・今回は高槻市・島本町エリアの番組だが、他のエリアの番組も放送するのか。
→既に放送中の 3 エリア含め 4 月 4 日から、全 12 エリアで放送開始予定。
- ・エリアごとに流すことは出来るのか。
→関西地区サービスエリアは 18 単位で放送可能。

・一日に何回流すのか。放送時間帯は。

→生放送が1回。再放送が2回。放送時間帯はエリアにより異なるが、高槻・島本エリアは生放送が11時から再放送が15時30分からと22時45分から。

・率直な感想として昔に比べてコミュニティチャンネルの番組は見たい番組になってきた。

・市民の声が出ていたのは非常に良い。市民の方がしゃべるのは重要なことである。

・南海トラフ地震といった有事の際に事務所に行って放送対応をするという気概を忘れずに持ってやってほしい。いつ起こるかわからない災害へ体制というか心構えを持っていてほしい。

・こじんまりまとまっていて地域密着という割にはローカル色が少ないような感じがした。

・オープニング（スタート）がよかった。ニュース番組として見ていて安定感/安心感があった。キャスターがよかった。中継時のキャスターも同様であるとよかったので、指導してはどうか。

・小さいイベントでも面白いものがたくさんあるので取り上げてはどうか。

・高齢化社会になりつつある中で、手話とか字幕があるといい。

・安心して見られる番組だったが、街の魅力（どんな街なのか）をもう少し紹介してほしい。外国人留学生とかも増えてきており、新しくお住まいになられて街を知らない人に地域の紹介も必要。

・全体としては安定感があって、新成人の意見がよかった。

・イベント情報とか一過性の情報だけでなく空地の活用情報とか知識につながるものを取り上げてほしい。

・本当に面白いと思ったら、録画して見る。放送時間は関係ない。

これらの発言いただいたご意見を、現場の制作スタッフや関係者にフィードバックし、今後の制作に役立てることを事務局よりお伝えし、番組審議会を終了した。

以上